

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

公益社団法人神奈川県社会福祉士会
------------------

## ②施設・事業所情報

名称：きゃんばす東林間第二保育園	種別：保育所
代表者氏名：鷹野勸助	定員（利用人数）： 65 名
所在地： 神奈川県相模原市南区東林間7丁目35-3	
TEL： 042-702-0881	ホームページ：http://oiwake-akebono.net/jigyou/daini-hoikuen/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2018（平成30）年 4 月 1 日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 追分あけぼの会	
職員数	常勤職員： 8 名 非常勤職員 11 名
	施設長 1 名 内科嘱託医 1 名
	保育士 12 名 歯科嘱託医 1 名
	栄養士 1 名 看護師 1 名
	調理員 3 名
施設・設備の概要	保育室7室 事務室1室 屋外遊戯場 調理室1室 職員休憩室1室

## ③理念・基本方針

<p>基本理念：共に遊び、共に学び、共に育ち合う          基本方針：養護と教育という両面を重視し、健全な心身を養い、生活の基盤になる習慣や態度を育てるとともに、異年齢、世代間、異文化交流を通して、多様性を受け入れられる柔軟な思考、感性と自主性の育成を目指します。</p>
--

## ④施設・事業所の特徴的な取組

<p>小田急江ノ島線東林間駅又は中央林間駅から徒歩12分の住宅地にある。北海道に本部のある社会福祉法人追分あけぼの会が運営し、2015（平成27）年に開設したきゃんばす東林間保育園の第二保育所として2018（平成30）年に認可され開設した。定員は65名だが、調査実施時点での内訳は0歳児が6名、1歳児10名、2歳児10名、3歳児13名、4歳児13名、5歳児11名の計63名で、12名の保育士も含め19名の職員により運営されている。保育目標に「心身ともに健やかな子ども 感性豊かな子ども ありがとうが言える子ども」を掲げ、特に開設2年目の重点目標として、「落ち着いて雰囲気の中での保育」「地域・近隣小学校との交流」「調和の取れた風通しの良い職場づくり」を目指している。子どもたちが持っている真っ白いきゃんばすにそれぞれの個性に溢れた、カラフルで素敵な絵を描いてほしい！という思いを込めて、保育を行っている。</p>
--

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 6月 19日（契約日） ～ 2020年 3月 16日（評価結果確定日）
--------	--

受審回数（前回の受審時期）	0回（ 一 年度）
---------------	-----------

⑥総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 計画的な食育と献立の工夫 毎月食育のテーマを設定し、「旬の食材あてゲーム」などの食育活動を行っている。また、「行事食」の他、絵本などをヒントに「物語メニュー」、全国各地の食文化をもとに「郷土料理」、各クラスの希望による「リクエストメニュー」を各々月一回提供している。また見た目を大切にしたり手作りのおやつを提供し、食事を楽しむ工夫をしている。</li> <li>2. 看護師による発育・健康支援 看護師が子どもに対し、エプロンシアターなど工夫して体のことなどを話す「健康教育」の時間を設けている。また、保護者に対して毎月「ほけんだより」を発行し、「皮膚を守る3箇条」などのトピック、感染症の発症状況や予防、身体測定などの予定も含めた多彩な情報を工夫して提供している。</li> <li>3. 清潔な保育環境 室内は常に清掃し清潔を保ち、各部屋に大きな窓を設置し採光と換気を工夫している。洗面所には使い捨てのペーパータオルを設置し、また、除菌液を入れた加湿噴霧器を使用し、感染症の予防なども含め衛生的な環境整備に努めている。</li> </ol> <p>◇改善を求められる点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. チームでの保育の形成 職員は年度の「自己目標」を設定し、施設長が個別面談を行い達成状況など話し合っている。しかし、園として期待する目標が提示されていない。幼稚園や他業種など様々な経験を積んだ保育士が各々工夫しながら保育しており、園としての目標の中で個人の目標が明確に位置づけられ、チームでの保育の形成が望まれる。</li> <li>2. 保護者のニーズの把握と子育て支援の工夫 保護者会及びクラス懇談会や全員を対象にした保護者面接を行い、また、送迎時の保護者との会話を大切に、0歳児は「連絡ノート」1歳児以上は「連絡メール」で園の様子を伝え、家庭での様子を把握するようにしている。メールでの連携の難しさを工夫し、保護者の状況をとらえ子育ての相談に応じる取組が望まれる。</li> <li>3. 生活と遊びを豊かにする保育の工夫 手に取れる高さに玩具を置くなど、自分が遊びたいと思う玩具を出して遊べる環境を工夫している。さらに、コーナーなどを工夫し、子どもが友だちと一緒に自主的に、また落ち着いて遊べる環境作りが期待される。</li> </ol>
--

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

<p>開設2年目を迎え、今回初めて第三者評価を受審させていただいたことで、保育内容や環境、情報の発信方法などについて多くの課題や気づきがあり、また保育所の運営全般について、色々な角度から改めて見直したり、気づいたりするよい機会となりました。良いところは継続しながら、改善点を園全体で共有し保育の質の向上に繋げていきたいと思っております。保護者の皆様からたくさんのご意見をいただきありがとうございました。今後も、お子さま、保護者の皆様、地域の皆様に愛される保育園を目指し、努力していきたいと思っております。</p>
--

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり